

(応募補助用紙)

「事業所専門相談員」(表面)

応募者氏名 _____

【次の質問に、お答えください。】

【回答欄が不足する場合は、枠欄を適宜拡大して構いませんが、できる限りA4両面にまとめてください。】

- 1 (保持資格等一覧)(知識・実務経験等一覧)の中から、該当するものがあれば、該当番号をすべて記入してください。
また、当該資格や知識・経験等を生かした業務経験の詳細を教えてください。

(該当番号)	(業務経験の詳細)

- 2 あなたが今回の求人職種に採用された場合、「支援をしたい」と考えている事業主又は対象者を、以下の一覧の中から、該当番号に○を付してください(複数回答可)。

また、選択した事業主又は対象者に対して、取り組んでみたい支援内容を具体的に記入してください。

【事業主】 ①助成金申請事業主 ②医療・福祉分野の事業主 ③建設、警備、運輸分野の事業主 ④就職氷河期世代の採用検討事業主 ⑤障害者の採用検討事業主 ⑥外国人の採用検討事業主 ⑦その他()
【対象者】 ①医療・福祉分野の就職希望者 ②建設、警備、運輸分野の就職希望者 ③就職氷河期世代の就職希望者 ④障害者 ⑤外国人 ⑥その他()
(支援内容)

(保持資格等一覧)

- ① キャリアコンサルティング技能士(1級又は2級)、キャリアコンサルタント国家資格、産業カウンセラーのいずれか。
- ② 臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士のいずれか。
- ③ 社会保険労務士、中小企業診断士、行政書士のいずれか。

(知識・実務経験等一覧)

- ④ 雇用開発関係助成金※制度の運営や支給事務に関する業務に深い関心と理解を有する。
(※雇用調整助成金、特定求職者雇用開発助成金、キャリアアップ助成金、人材開発支援助成金、産業雇用安定助成金等の助成金)
- ⑤ 雇用管理の改善に関し深い知識と経験を有する。
- ⑥ 助成金の制度を十分に理解でき、事業主等に対して明確に説明が行える。
- ⑦ 効果的な職業訓練の在り方などに関する高度な知識・経験を有する。
- ⑧ 医療・福祉分野での実務経験がある。
- ⑨ 医療・福祉分野の企業(事業所)における人事労務管理の知識・実務経験がある。
- ⑩ 職業相談・職業紹介に関する知識・実務経験がある。
- ⑪ 建設・警備・運輸分野での実務経験がある。
- ⑫ 建設・警備・運輸分野の企業(事業所)における人事労務管理の知識・実務経験がある。
- ⑬ 企業(事業所)との関係や企業(事業所)に関する知識・経験を活かした求人開拓ができる。
- ⑭ 企業(事業所)の人事労務管理に関する知識・実務経験を有する。
- ⑮ 労働局管内の商工・労働分野に関する見識がある。
- ⑯ 職業能力開発行政について、深い関心と理解を有する。
- ⑰ 障害者雇用に関する専門的知識を持ち、関係機関(障害者福祉施設や特別支援学校等)との効果的な連絡調整ができる。
- ⑱ 入管行政の経験、経営・労務に関するコンサルタント業を営む等在留制度や外国人労働者の雇用管理に関する専門的な知識・経験がある。

【裏面は、記入できる方のみ(記入できる箇所のみ)記入をお願いします。】

(応募補助用紙)

「事業所専門相談員」(裏面)

3 勤務している(いた)部署、期間、職種、主に支援している(いた)対象者又は事業主を記入してください。(複数ある場合は、一番長く勤務していた時のものを記入してください。)

(例:〇〇安定所) (例:〇〇株式会社)	(例:令和〇年〇月～現在)	(例:事業所専門相談員) (例:キャリアカウンセラー)	(例:助成金申請事業主) (例:シニア世代)
-------------------------	---------------	--------------------------------	---------------------------

4-1 上記3の期間中、担当する業務を進めていく中で、具体的な(個人又は組織の)目標がありましたか。また、当該目標を達成するために、自ら能動的(積極的)に取り組んだ内容について記入してください。
(目標がなかった場合は、目標なしと記入した上で自ら能動的(積極的)に取り組んだ内容について記入してください。)

4-2 (続き)

自ら能動的(積極的)に取り組んだことで、どんな結果・成果がありましたか。また、どんな課題点があると考えましたか。課題点に対して改善すべき部分や取り組むべき部分等も含めて、具体的に記入してください。

5 上記4の内容を踏まえ、あなたが採用された場合、「新たに挑戦してみたいこと」「特に力を入れて取り組んでみたいこと」「業務改善をして取り組んでみたいこと」等があれば、具体的に教えてください。(表面2の回答以外で)